

2 生涯スポーツ

(1) 講習会・研修会

ア スポーツ活動指導者講習会 平成 22 年度 実績

教育事務所	回数	期日	会場	参加人数	内容
東信	1	8/28	小諸市	215 名	「学社融合フォーラム」開催 「みんなで子どもを育てよう」
東信	1	1/29	佐久市	50 名	「子どもたちが楽しみながらより速く、より軽やかに、より素早く動くためのトレーニングの実際」
南信	1	1/13	伊那市	56 名	「コミュニケーション・レクリエーションの理論と実技」
飯田	1	1/16	飯田市	68 名	「テーピングの基礎・基本」 ～予防と応急処置～
中信	1	6/19	旭日村	24 名	「跳べる楽しくなる縄跳びの指導」
	1	9/25	塩尻市	33 名	「総合型地域スポーツクラブについて」
北信	1	5/29	長野市	50 名	「コーディネーショントレーニングの講義・実技」
	1	10/27	坂城町	21 名	「コーディネーション運動遊び」 「ニュースポーツ実技」
	1	11/14	中野市	31 名	「レクリエーションスポーツの指導・実技」

イ 体育指導委員研修事業

県下体育指導委員の参集を得て、市町村における体育・スポーツの振興に関する諸問題について研究協議し、体育指導委員の資質向上を図るために研修会を次のとおり実施した。

名称	期日	会場	参加人数	内容(テーマ)
長野県女性体育指導委員指研修会	8月28日 (土)	高森町民体育館	137名	「こつこつアップで活き活きの輪」
長野県体育指導委員研究協議会	11月20日 (土)	大町市文化会館ほか	440名	「努力と感動‘スポーツを通じて学ぶもの、与える夢」

ウ 長野県のスポーツ指導者研修会

期 日	会 場	参加者数	内 容
12月11日(土)	松本市勤労者福祉センター	115名	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの体力向上について ～成長期のスポーツ障害予防の観点から～ スポーツに必要なバランスについて
12月4日(日)	千曲市文化会館 あんずホール	160名	<ul style="list-style-type: none"> トレーニングの科学 ～スポーツ障害の予防～ スポーツに必要なバランスについて

(2) 大会等の行事

ア 2010 県民スポーツフェスティバル

昭和48年から「長野県民運動競技大会」として開始。平成4年から「長野県民さわやかスポーツ祭」に変更。平成14年度から「県民スポーツフェスティバル」として、スポーツ愛好者の底辺拡大、生涯スポーツの普及推進等を主眼に開催した。当日は、県下各地から3,554名の方が参加し、スポーツを通じた交流の一日を満喫した。

【期 日】 平成22年10月24日(日)

【会 場】 松本平広域公園ほか

(ア) 競技の部

a 実施種目 陸上競技、ソフトバレーボール、ラージボール卓球、ソフトボール、ゲートボール、マレットゴルフ、グラウンド・ゴルフ、ミニサッカー、小学生相撲、キンボール、ペタンク、トリオボウリング

b 参加者数 県大会:2,401名、地域版:6,307名

(イ) ふれあいスポーツの部

a 実施種目 ノルディックウォーキング、キンボール、ペタンク、車いすテニス、ビームライフル

b 参加者数 219名

(ウ) イベント広場

a 実施内容 レクリエーション体験、健康相談ほか

b 参加者数 809名

(エ) ランチタイムイベント

a 実施内容 長野スポーツスタジアム(クラスで8の字ジャンプ)の演技発表

b 参加者数 125名

イ 第31回北信越国民体育大会

第31回北信越国民体育大会は、富山県下において開催された。なお、本県の第65回

「ゆめ半島千葉国体」出場権獲得は、17 競技 36 種別であった。

- (ア) 期 間 平成 22 年 8 月 20 日 (金) ～22 日 (日)
- (イ) 会 場 富山県下 10 市 3 町、石川県下 1 市
- (ウ) 参 加 者 選手・役員 770 名
- (エ) 競 技 32 競技

ウ 第 65 回国民体育大会

第 65 回国民体育大会本大会「ゆめ半島千葉国体」が、千葉県下で開催され、男女総合（天皇杯）14 位、女子総合（皇后杯）16 位の成績を収めた。

- (ア) 期 間 平成 22 年 9 月 25 日 (土) ～10 月 5 日 (火)
(9 月 8 日～12 日、9 月 21 日～23 日：会期前開催)
- (イ) 会 場 千葉県千葉市以下 30 市 2 町
- (ウ) 参 加 者 選手・役員 416 名

エ 第 66 回国民体育大会

第 66 回国民体育大会冬季大会が、青森道 八戸市以下 2 市 1 町（スケート・アイスホッケー）、秋田県鹿角市（スキー）で開催された。

冬季大会終了時点の総合成績は、男女総合（天皇杯）2 位、女子総合（皇后杯）2 位の成績で本大会にバトンタッチされた。

- (ア) スケート競技会・アイスホッケー競技会
 - a 期 間 平成 23 年 1 月 26 日 (水) ～30 日 (日)
 - b 会 場 スケート競技：青森県八戸市、三沢市
アイスホッケー競技：青森県八戸市、南部町
 - c 参 加 者 選手・役員 100 名
 - d 総合成績 男女総合（天皇杯）2 位、女子総合（皇后杯）2 位
- (イ) スキー競技会
 - a 期 間 平成 23 年 2 月 12 日 (土) ～2 月 15 日 (火)
 - b 会 場 秋田県鹿角市
 - c 参 加 者 選手・役員 116 名
 - d 総合成績 男女総合（天皇杯）3 位、女子総合（皇后杯）3 位

オ 第 23 回全国スポーツ・レクリエーション祭

広く国民にスポーツ・レクリエーション活動を全国的な規模で実践する場を提供することにより、国民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、もって国民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の振興に資することを目的として開催された。

- (ア) 期 日 平成 22 年 10 月 16 日 (土) ～19 日 (火)
- (イ) 会 場 富山県内 7 市 2 町

- (ウ) 実施種目 グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、壮年サッカー、ソフトバレーボール、女子ソフトボール、ラージボール卓球、ターゲット・バードゴルフ、男女混合綱引、年齢別テニス、年齢別ソフトテニス、バウンドテニス、年齢別バドミントン、壮年ボウリング、マスターズ陸上競技、インディアカ、フォークダンス、エアロビック、トランポリン
- (エ) 参加者 選手・役員 147名

(3) 市町村体育施設整備事業

体育施設整備事業実施個所

平成22年度に安全・安心な学校づくり交付金を活用して完了した施設

事業名	実施主体	施設の名称	事業細目	区分	実施面積(m ²)	事業に要した経費(円)	交付額(円)
安全・安心な学校づくり交付金	上田市	本原小学校	水泳プール(屋外・一般)	改築	325	103,964,000	14,462,000
	大町市	仁科台中学校	グラウンド環境整備	改築	13,800	60,000,000	20,000,000
	佐久市	浅間中学校	グラウンド環境整備	改築	11,597	60,000,000	20,000,000
	佐久市	浅間中学校	学校屋外運動場照明施設	改築	—	14,151,000	4,092,000
	御代田町	御代田中学校	水泳プール(屋外・一般)	改築	325	54,368,000	18,122,000
	箕輪町	箕輪中学校	中学校武道場	新築	450	100,000,000	50,000,000
	箕輪町	地域スポーツセンター	地域スポーツセンター	新築	2,100	372,450,000	124,150,000
	信濃町	信濃中学校	学校クラブハウス	新築	111	17,724,000	5,908,000
	飯綱町	飯綱中学校	中学校武道場	新築	450	148,072,000	74,036,000

(4) 県民みなスポーツ事業

世界一周歩け走ろう運動

昭和53年開催の第33回国民体育大会「やまびこ国体」が、本県で開催されることを契機に、県民みなスポーツを奨励することを目的として「世界一周歩け走ろう運動」を推進してきた。1日2kmを歩く・走ることを目安に100日、200日、400日、800日を達成するごとに、達成ピンバッジ(100日は達成証)を授与するようになってきた。現在、地域の運動推進者だけでなく、小学校・クラス単位で実施しているところもある。健康志向の高まりとともに広く運動が展開されている。